

第74回全国大会レポート

地域活性化委員会

副委員長 有川朋邦

SAGA アリーナで大会式典、卒業式が行われました。秋晴れの空の下、青と白の雲が広がり、その美しさがアリーナの近代的な建物とよく調和していました。私自身初めての大会式典、卒業式の参加であったため、あまりどのような雰囲気かもわからず人の流れに身を任せ会場へと入った。

会場に入った瞬間、まず圧倒されたのはそのスケールの大きさでした。式典前にもかかわらず、会場全体に熱気と緊張感が漂っており、「これから始まる特別な時間」を予感させる雰囲気でした。改めて自分もその一員であることを誇りに思いました。会場を包む拍手の音と共に、仲間とのつながり、そして未来への希望を感じました。式典が始まると参加者が真剣な表情で耳を傾けていました。私は客席からその様子を見ながら、この大会に込められた思いや意義の大きさを感じました。たくさんの方達がステージ上で話をされている中でも特に印象深かったのは、公益社団法人日本青年会議所 2025 年度第 74 代会頭の貴重なお言葉でした。

希望溢れる理想を描き変えたのだと誇れる未来へという理念に沿った行動を全力で行ってきたということをして頭による「自分の人生を本にするのであればこの一年が多くのページを刻むことになる。そしてその物語どれもが笑顔と喜びと笑いとそして誇りに満ち溢れているものだと思う」というこの言葉によって強く感じました。会場中の各所の青年会議所メンバーを見て、組織としての一体感や、個々の役割の大切さを実感しました。また、他の青年会議所メンバーと交流を通して、新しい視点や考え方に触れることができ、自身の活動の幅を広げるきっかけとなりました。

今回の大会参加は、私にとって貴重な学びと刺激の場となりました。多くの方が同じ目的のもとに集まり、互いに励まし合いながら活動する姿に感動を覚えました。本年度の挑戦と成果を集大成としつつ、そこに満足せず、さらに成長と発展を目指すことの大切さを学びました。さらに単なる本年度の総括ではなく、得た成果や経験を次年度へと引き継ぎ、未来に向けて運動を加速させる場であると重々感じることができました。今後はこの経験を自分の成長に生かし、次の機会につなげていけるよう積極的に自ら行動していきたいと思います。

